

黎明祭

今年度の黎明祭は4月24日の土曜日に行われました。今年度の企画は音楽系サークルのステージ、部活動の紹介ブース、無料とん汁サービスが主な企画でした。

まず、音楽系サークルのステージですが、新潟大学の音楽団体が約一時間おきに入れ替わってライブを行っていました。今回は屋外ステージではなく、学生会館の大集会室で行いました。新入生は、あまり良くない天候のわりには足を運んでくれたようです。そのおかげでライブの雰囲気は良くなり、盛り上がったようです。

無料とん汁サービスは気温が上がらなかったため、八百食分のとん汁がみるみるなくなってゆき大好評でした。

部活動の紹介ブースもいろいろな部活動団体が参加してくれて、なかなかにぎやかだったと思います。

これらのイベントを開催するにあたって、黎明祭の役員は二カ月くらい前から準備を始めていました。今回の黎明祭は、例年より約一カ月半も早く開催されました。なぜそれだけ早くなったかという、もともとの黎明祭の趣旨である、新入生歓迎・開学記念のうち新入生歓迎ということ重視して四月に行われたのです。しかし、僕たちが役員になった時期が二月の中旬だったので、役員決定と同時にいきなり黎明祭という大きなイベントの準備が待ち受けていることとなり、多くの人は戸惑っていたと思います。僕もはじめはまったく心の準備ができてなかったので、何をどうしたらいいのか全くわかりませんでした。でも、時がたつにつれて、実行委員長としての責任が少しずつ増していき、行動も少しずつ積極的になっていきました。



やっぱり人間は一人だけではやっていけないと実感しました。





しかし、実行委員長というのは本当に肩書きだけで、多くの仕事は去年も役員だった人達等に助けてもらってました。やっぱり人間は一人だけではやっていけないと実感しました。

今回の黎明祭は「新歓祭り」という毎年四月半ばに行われている行事と合同で行い、そのため準備をする上でいろいろややこしくなった面や、すんなり仕事がかたづいた面もありました。そのこともあってか二カ月の準備期間は僕にとっては少し短かった気がします。黎明祭の一週間前に企画がまとまったりと、いろいろ大変だったと思います。

なんだかんだ言って、今回は新入生もなかなか来てくれたので、それなりに成功したのかと思います。しかし、改善するところも多々あるので、いろいろな人の意見を聞いて、来年からは今よりずっと楽しく、また大勢の人が来て盛り上がるような黎明祭になってほしいです。

最後になりましたが、僕を大いにサポートしてくれた役員の皆さん、黎明祭に参加してくれた各団体の皆さん、そして何より黎明祭に足を運んでくれた新入生の皆さん、この場を借りて感謝したいと思います。ありがとうございました。

黎明祭実行委員長
工学部2年 吉野幹